

# 精神科医療の普及と教育に対するガイドラインの効果に関する研究

## 1. 研究の対象

2016年4月1日から2027年3月31日までに杏林大学医学部附属病院精神神経科にて、精神疾患の入院治療を受けて退院した方。

## 2. 研究目的・方法

医療が目覚しく進歩した現代社会においても、こころの病は患者さまの苦しみはもちろんのこと、社会に及ぼす影響も大きいことが知られています。病気等の寿命短縮年数と生活障害をおよぼす健康寿命の合計した健康被害の指標(障害調整生命年 disability adjusted life years DALY)によると、日本のDALYでは精神疾患は19%と第一位であり、がん(18%)、心血管障害(16%)と続き、自殺も4%を占めています。精神疾患の診断や治療に関する研究が進められ、そのエビデンスに基づく診療ガイドラインも作成されていますが、それが実地臨床に反映され、役立っているかどうかについてはまだ十分にわかっていません。そこで本研究においては、精神科における診療ガイドラインの講習を行い、その医療機関における治療に影響を与えるかどうかについての検討を行い、精神科医療の普及と教育に対するガイドラインの効果を検証し、より適切な治療が広く行われることを目的としております。

研究実施期間は、実施承認後 ～ 西暦2027年3月31日です。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

一般診療で行う範囲内の情報であり、年齢、性別、診断などの基本情報、処方データ、治療方法、症状データ等

## 4. 外部への試料・情報の提供

共同研究機関にデータを提供する場合には、匿名化した情報を、パスワードをかけた電子ファイルを用いて電子的配信等の方法で提供します。対応表は、研究責任者が保管・管理します。

## 5. 研究組織

杏林大学医学部附属病院・渡邊衡一郎

以下は共同研究施設です。

大阪大学医学部附属病院・橋本亮太

愛媛大学医学部附属病院・伊賀淳一

九州大学病院・鬼塚俊明

京都大学医学部附属病院・諏訪太郎

慶應義塾大学病院・岸本泰士郎

神戸大学医学部附属病院・菱本明豊

国立国際医療研究センター国府台病院・宇佐美政英

産業医科大学病院・堀輝

昭和大学附属烏山病院・山田浩樹

信州大学医学部附属病院・杉山暢宏

筑波大学附属病院・根本清貴

東京女子医科大学病院・稲田健

東京大学医学部附属病院・市橋香代

東邦大学医療センター大森病院・田形弘美

名古屋大学医学部附属病院・尾崎紀夫

日本大学医学部附属板橋病院・降旗隆二

藤田保健衛生大学病院・松井佑樹

北海道大学病院・橋本直樹

滋賀医科大学附属病院・高橋正洋

若草病院・水野 謙太郎

滋賀県立精神医療センター・稲垣貴彦

かつもとメンタルクリニック・勝元榮一

駒木野病院・高宮彰紘

松山記念病院・見山芳隆

横浜市立大学附属病院・藤田純一

横浜市立大学附属市民総合医療センター・高橋雄一

北里大学東病院・宮岡等

雁の巣病院・熊谷雅之

国立国際医療研究センター病院・今井公文

兵庫医科大学病院・山田恒

東北大学病院・富田博秋

金沢医科大学病院・大井一高  
鈴鹿厚生病院・山村哲史  
奈良県立医科大学医学部附属病院・牧之段学  
徳島大学病院・沼田周助  
慧眞会協和病院・村田篤信  
鳥取大学医学部附属病院・岩田正明  
金沢大学附属病院神経科精神科・長澤達也  
大阪市立大学医学部附属病院・児玉祐也  
富山大学附属病院神経精神科・高柳陽一郎  
福岡大学病院・飯田仁志  
福井大学医学部附属病院神経科精神科・小俣直人  
山梨県立北病院・野田北斗  
生きる・育む・輝く メンタルクリニック・安田由華  
医療法人松崎病院豊橋こころのケアセンター・竹澤健司  
東松山病院・田巻龍生

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

住所：東京都三鷹市新川 6-20-2

電話番号：0422-47-5511

研究担当者：杏林大学医学部精神神経科学教室 坪井貴嗣

研究責任者：杏林大学医学部精神神経科学教室 渡邊衡一郎

研究代表者：大阪大学医学部附属病院神経科・精神科 橋本亮太